

トレンドーズ、J-Beauty の魅力を世界に発信する新雑誌 『AKANE MAGAZINE』を本日 2026 年 4 月 30 日新創刊！ 有村架純さんをはじめとした 8 名の役者陣が、Beauty & Fashion ルックを披露

トレンドーズ株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：黒川涼子、東証グロース上場：証券コード 6069）は、この度 J-Beauty の魅力を世界に発信する新雑誌『AKANE MAGAZINE（アカネマガジン）』を本日 4 月 30 日に創刊します。記念すべき創刊号の表紙には、俳優 有村架純さんにご出演いただきました。また、日系書店と連携し、東アジア、東南アジアを中心に、順次国外での販売網を拡大していきます。

◆「美容×文化」古来から受け継がれてきた日本の美しさ

『AKANE MAGAZINE（アカネマガジン）』では、「J-Beauty」の在り方を“美容×文化”と定義。“日本の美しさを再確認・再定義する”をコンセプトに企画のラインナップを設定しました。また、様々な古文書や、伝統工芸品、着物の絵柄などをグラフィックデザインに活用し、令和の時代に最適化した「J-Beauty」の新たな価値・魅力を提案していきます。

【表紙のデザインについて】

写真を囲む赤やオレンジのデザインは、有村架純さんの涼やかで洗練された雰囲気、そしてそのお名前からヒントを得て「黒縮緬地松霞模様（くろちりめんじまつがすみもよう）」の着物の絵柄を一部加工して転写。松と霞（かすみ）を配した絵柄が特徴的な着物であり、風格と落ち着きのあるデザインが、創刊号、そして有村架純さんにピッタリだと思い、採用しました。



◆ 映像業界を中心に活躍する、豪華 8 名の役者が集う



写真上段左から【有村架純】【井桁弘恵】【山田杏奈】【南 琴奈】、
写真下段左から【堀田 茜】【剛力彩芽】【馬場ふみか】【松井遥南】以上敬称略



●企画例 / (連載) 日本の宝「アニメーション作品」の作画と設定

◆ その他のコンテンツについては WEB にて公開中

創刊号特設ページ

<https://akanemagazine.jp/firstissue>

◆ 『AKANE MAGAZINE』商品概要

AKANE MAGAZINE 創刊号 (2026 春号)

【発売日】2026 年 4 月 30 日

【販売】国内全国書店、Amazon などネット書店、一部海外日系書店

【発行形態】発行・発売：トレンダーズ株式会社 季刊：1・4・7・10 月 各 30 日発売

【判型】A4 変型判 H270mm×W210mm

【頁数】154 ページ

【価格】定価 1,320 円 (本体価格 1,200 円+税)

◆ 『AKANE MAGAZINE』名前の由来

躍動する新しい時代だからこそ、大切にしたい想いと、未来へのあたたかな願い、ふたつの意味を『AKANE MAGAZINE (アカネマガジン)』の名に託しました。

ひとつ目は、茜色。日本の伝統色のひとつで、古来より人々に親しまれてきた深い赤です。日本茜の根から抽出されるその特別の色は、吉野ヶ里遺跡から発掘された織物の一部からも色素が検出されており、弥生時代には既に日本茜が染料として用いられていた可能性があるといわれています。また、「あかね」という文字は『万葉集』など多くの歌に登場します。茜色に美しく輝く意味から、「日」、「照る」、「君」、「紫」など、光や色、高貴さを連想させる語にかかる枕詞「あかねさす」として使われ、恋歌などに多く登場する形容的な姿が印象的です。現代にかけては「茜色の空」など、夕暮れ時の叙情的な美を伝える色として定着しました。染料から言葉へと姿を変え、1300 年以上にわたり日本人に愛され続けてきた色。その名を冠して『ANANE MAGAZINE』は令和の時代に誕生します。

ふたつ目は、“As Known As Nippon Element.” 頭文字をつなげると「AKANE（アカネ）」になります。直訳すれば「日本の要素＝本質として知られているもの」。文法を少し超えてでも、このコピーには、日本の演者、アスリート、アーティスト、クリエイターたちに光を当てたいという私たちの想いを込めました。美容やファッションを軸に、文化や歴史と交差させながら、日本から世界へ新しいコンテンツを羽ばたかせていきます。

◆ 編集長より、「J-Beauty」を掲げ、この時代に雑誌を発行する背景と理由

この10年ほどで、美容や化粧品を取り巻く環境は大きく変化しました。世界中の商品が集まり、情報は増え続け、性別、世代を問わず、なりたい自分に近づくための選択は、以前に比べて容易に。またAIの発達もあり、各々に最適化された情報や手段を入手できるようになったことから、美容の価値観や定義は、大きく、広くアップデートしたとも言えるでしょう。「J-Beauty」の在り方についても例外ではなく、今まさに、日本の化粧品産業が未来に向けてどう舵をきっていくか、転換期の真っ只中にあるのではないのでしょうか。

『AKANE MAGAZINE』では、「J-Beauty」の在り方を“美容×文化”と定義。世界に日本が誇りをもって届けることのできる“美しさ”は、見た目や内面の充実さだけでなく、日本がこれまで歩んで来た歴史や、現代の日本カルチャーをエッセンスとして含ませた“味わい”や“余韻”にある——そのように提案することが、令和のこの時代にコミュニケーションすべき「J-Beauty」なのではないかと考えています。もちろん、そこには日本の高い研究力や、開発力といった技術によって裏打ちされていることが前提です。そういったこの産業を支える開発者たちの声を積極的に拾い上げ、消費者に受け入れられた人気のアイテムがいつ、なぜ提案され、どう消費者に愛されるブランドに歩みを重ねて来たのか、それぞれのブランドが辿って来たストーリーや、そこに携わるヒト・モノ・コトにもしっかりとフォーカスを当て、近年世界中で愛好家たちを増やし続ける「抹茶」のような奥深い魅力を付加価値として、国内外に丁寧に発信していきます。（AKANE MAGAZINE 編集長 鈴木 暁）

◆ 編集長プロフィール



鈴木 暁（Satoru Suzuki）1984年生まれ。

出版社4社を経て、2025年10月 トレンダーズ株式会社に参画。2010年と2014年には美容誌2誌の立ち上げに携わり、いずれも初代編集長を務めるなど、美容業界の最前線で活動。ライフワークとして札幌・名古屋・京都・大阪・山口など日本各地で、美容とアートを掛け合わせたプロジェクトを展開。バックバックひとつで海外を旅する自由なスタイルを好み、趣味は漫画・アニメ・日本酒。豊富な経験と“生粋のオタク魂”を武器に、新しい時代のメディア作りに挑戦している。

AKANE MAGAZINE

WEB：<https://akanemagazine.jp/>

Instagram：<https://www.instagram.com/akanemagazine/>

X：<https://x.com/akanemagazine>

■このリリースに関するお問い合わせや資料・取材をご希望の方は下記までご連絡ください■

トレンダーズ株式会社 <https://www.trenders.co.jp> 東京都渋谷区東3-16-3 エフ・ニッセイ恵比寿ビル8F

お問い合わせ先：akanemagazine@trenders.co.jp